

【2月25日】

ボディーパーカッション発表会



思い切り歌うことができなくなってしまう。 「何とか、全員で作上げた喜びを味わわせたい」という職員 の思いから始まったボディーパーカッション(BP)でしたが、生徒たちは生き生きと取り組みました。毎日毎日練習に取り組み、この日、学年別に発表会を開催しました。

学年色、学級色が演奏に見事に出ている演奏ばかりで、耳でも目でも楽しむことができました。そこまでのものを作り上げるには、リーダーたちの頑張りはもちろん、学級で話し合った



り声をかけ合ったりした事実があったはずで、仲間と一つのものを作り上げたことを大切にしてほしいものです。BPは、苦手であっても尻込みするわけにはいきません。拍手や動きがずれれば、質の高い演奏はできません。その分、苦手な仲間寄り添って支える働きかけが必要になります。

「支える」と言えば、発表会を計画し、進行させた合唱委員の動きも見事でした。どの学年も、発表会終了後には、椅子を消毒する合唱委員の姿がありました。合唱ができなくても、みんなで作り上げたBPは、今年度の大きな財産となりました。

